

地域で見つけた Good Idea !!

グッド アイデア

便利です！！

牛の移動にカウバケット

標津町のI牧場では、場内の乳牛の移動にカウバケットを使っています。地元の鉄工所に作ってもらいました。

＜使い方と特徴＞

- 乾乳舎と搾乳舎の間が離れているため、バケットに乗せてスムーズに移動できる
- 特に地面が滑りやすい冬に重宝している
- 放牧地で分娩してしまった親子を迎えに行くのに便利
- サイズは縦 255×横 165×高さ 173 cm で、成牛なら1頭、小さめの初妊牛なら2頭乗せられる
- 一度モクシで引いて乗せてやると、次回もスムーズに乗ってくれる

地域では、その便利さから、数件の牧場ですでに使われています。みなさんもいかがですか？



色バンドで、

治療乳頭が一目瞭然！

別海町西春別のT牧場では、乳房炎等で治療中の乳頭を色バンドと装着位置で見分けています。

＜ポイント＞

- 搾乳時、目にとまりやすいよう後ろ足に装着
- 前乳頭は黄色、後乳頭は青色で色分け
- 右乳頭は右足、左乳頭は左足に装着



写真

- 1: 右前乳頭
- 2: 右後乳頭

経営者の方は、「装着が簡単だし、誰が見てもわかりやすい。朝、眠たくても間違えないです！」と言っていました。出荷しない乳がバルクに混入しては一大事です。事故を未然に防ぐためにも、ぜひ試してみてくださいは？

自作ほ乳びんホルダーで楽々ほ乳

別海町中春別のT牧場では、自作カーフハッチにほ乳びんをのせる座板を取り付け、同時に数頭ほ乳しています。

＜工夫したポイント＞

- 余った端材や廃品を利用
- 手を添えなくても、ほ乳可能
- ほ乳びんをぴったり固定でき、子牛の突き上げにも対応
- 何回か牛に飲ませてみて、最も自然に飲めて、残乳がない角度に設置

「乳肉複合経営では乳頭数が多いので、省力化に繋がるよう努めた。」とのことでした。



靴底の汚れを確認！ 病原体を持ち込まないためのひと工夫

根室市のS牧場では、牛舎の出入り口には、洗浄のための「水洗い槽」「洗車機」「ブラシ」と「消毒槽」が常時設置されています。その横には鏡（小型トラック用の可動式バックミラー）があり、靴底の汚れの落ち具合を確認できるようになっています（写真1）。

牧場内には多数の足洗い場が設置されていますが、地面が舗装されていない場所は、パレットの上で洗浄できるようになっています（写真2）。土の跳ね返りを防止することができます。



写真1 鏡で靴底の汚れを確認
写真2 パレットの上で洗浄

